

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252010	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
人類学分野における世界トップ水準の 小型学術雑誌の確立		日本人類学会	会長 松浦 秀治
学術刊行物の名称			(略称)
Anthropological Science			AS

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>自然人類学のトップジャーナルと差別化を図り、規模の小さいジャーナルとして、掲載数に比較して引用数を向上させること、また有力誌における論文での引用を向上させることなどを目標にし、達成していることは評価できる。外国人編集委員や外国人レフェリーに関する数値目標は立てていないが、これら目標の達成状況から見れば、国際発信の目的を達成していると言える。</p> <p>個別勧誘を進め、投稿・掲載された論文とともに、特集等の内容面での差別化を図ることによって、更なる引用数向上を期待したい。</p>	